

大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会  
—より良い男女共同参画を目指して—

公立大学法人 奈良県立医科大学

女性研究者支援センター まほろば

奈良県立医科大学

微生物感染症学 講師

兼

女性研究者支援センター コーディネーター

水野文子



# 奈良県立医科大学学生 (平成26年度)

## (1) 医学部医学科

現員 680人      女子学生 198人 (29.1%)

## (2) 医学部看護学科

現員 348人      女子学生 331人 (95.1%)

## (3) 博士課程大学院

現員 91人      女性 22人 (24.2%)

## (4) 修士課程大学院

現員 36人      女性 24人 (66.7%)

# 奈良県立医科大学研究者

(平成26年9月1日現在)

医学部教員 358人  
(女性教員 78人 21.8%)

医学科教員 323人  
(女性教員 48人 14.9%)

看護学科教員 35人  
(女性教員 30人 85.7%)

教員

研究者

医学部研究者 649人  
(女性 170人 26.2%)

医学科研究者 614人  
(女性 140人 22.8%)

看護学科研究者 35人  
(女性 30人 85.7%)

教授

准教授

講師

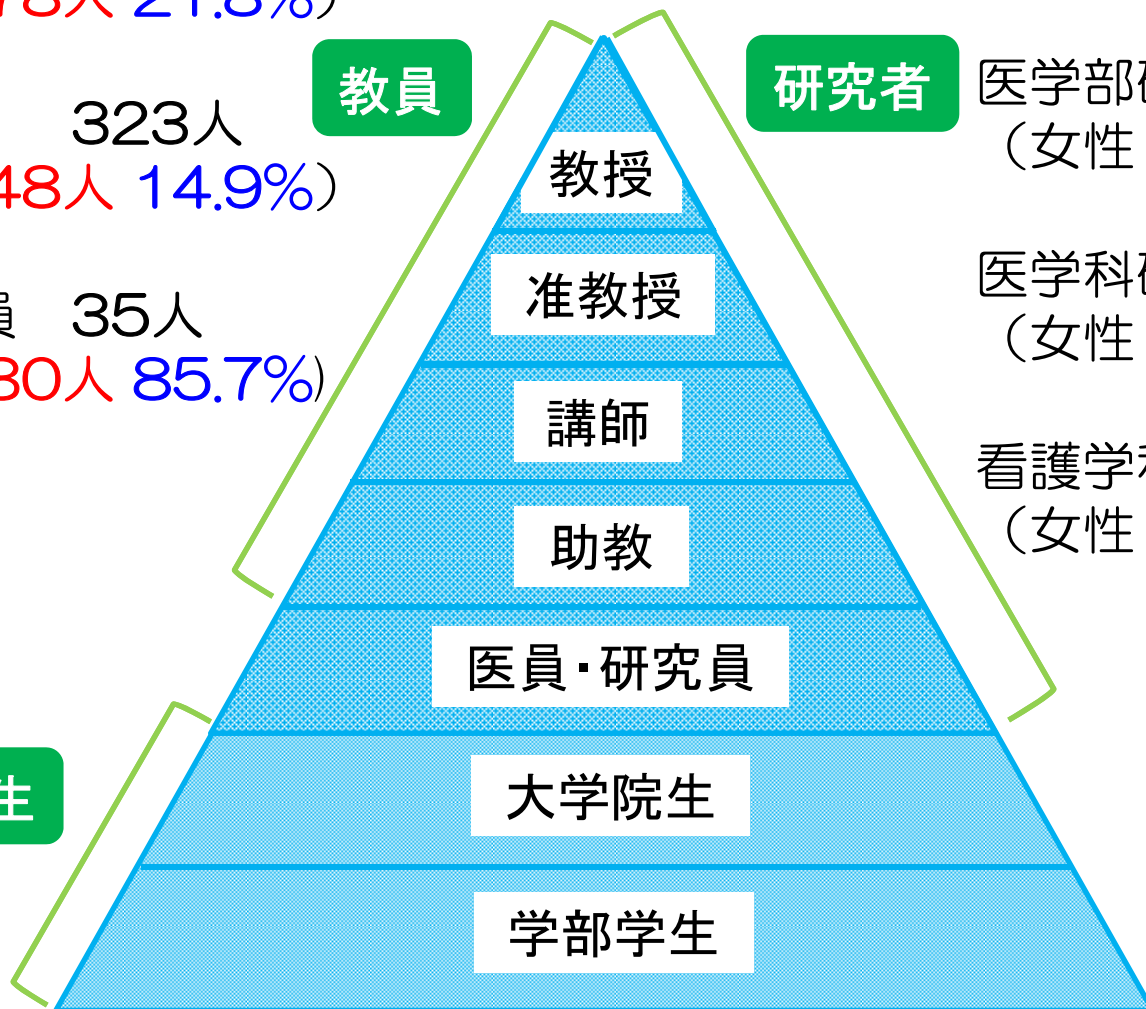
助教

医員・研究員

大学院生

学部学生

学生



# 女性研究者支援センター「まほろば」

▶平成22年度 女性研究者支援センター「まほろば」設立

▶平成23年度 科学技術人材育成費補助事業  
「女性研究者研究活動支援事業」に採択  
(平成25年度補助事業終了)

▶平成26年度～

大学の独自予算により、名称は現行のまま、  
男女共同参画の推進を担う組織として活動開始

▶女性研究者が研究を継続・発展させ、  
キャリアアップを図ることができる環境整備を  
行い、男女共同参画を推進させる。



# センターの取り組み

研究継続支援

女性研究者の  
増加支援

意識啓発・広報

未来の女性研究者  
育成

# 研究継続支援

## 研究とライフイベントの両立支援

### ➤ 研究支援員の配置

妊娠・出産・育児・家族の介護等ライフイベント中の女性研究者の研究継続支援のために研究支援員を配置

(H26より対象を教員と診療助教・研究助教に拡大)

### ➤ アンケート調査の実施

▶ 育児期の医師・女性研究者に対する支援体制に関するアンケートを各臨床医局長に対して実施

▶ 全教職員を対象に二層調査を実施

★奈良医大なかよし保育園⇒増改築・定員増から、病児保育対策へ。

## 早期離職防止

### ➤ 相談活動

ハラスメントや人間関係の悩み、研究者が研究を継続する上で発生する様々な問題について、マネージャーが面談の上、対応。

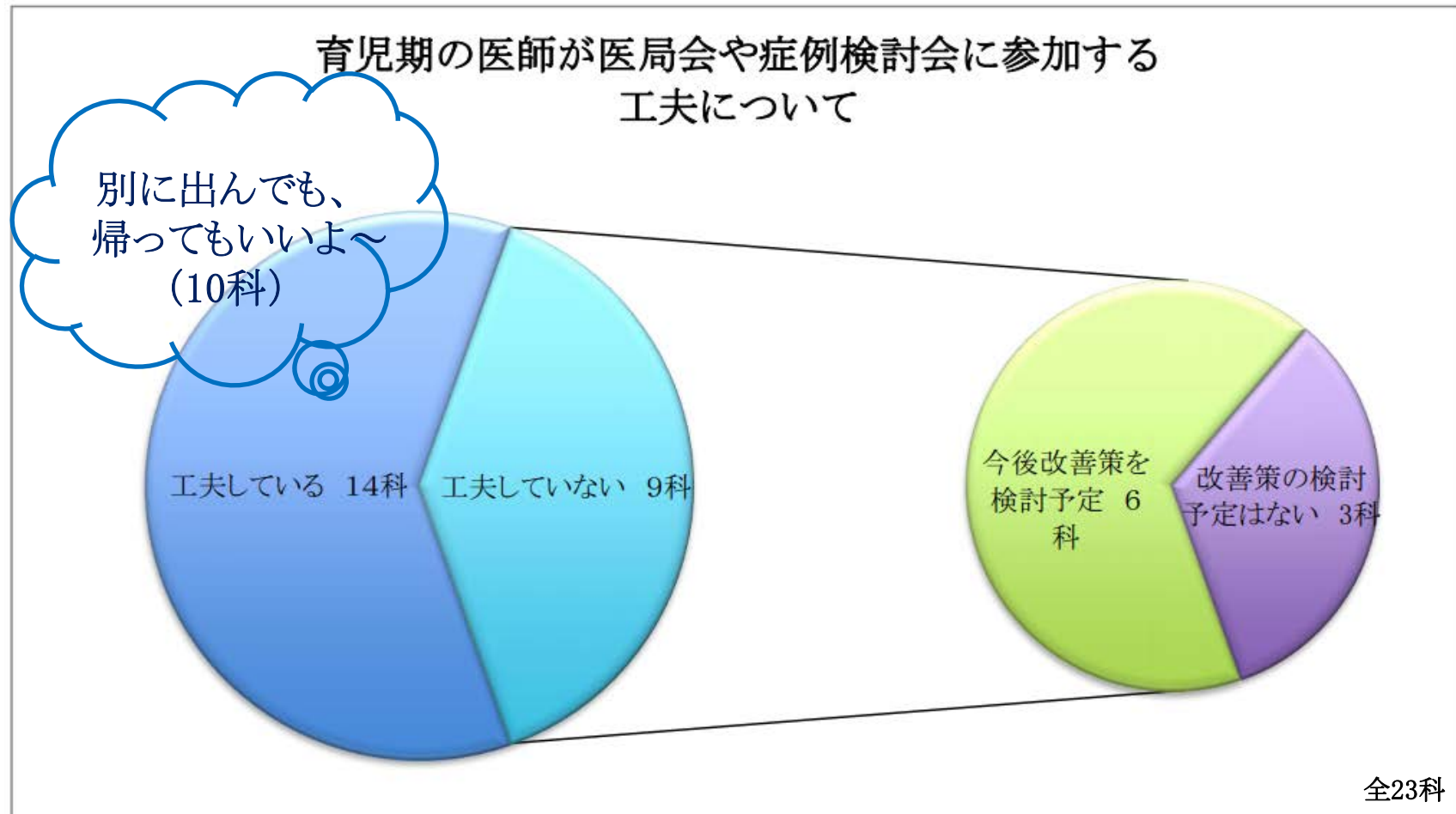
必要に応じて、心理相談員によるカウンセリングも週1回実施

### ➤ シンビオティック（共生）ラボ

ハラスメント等により研究が困難になった研究者に緊急避難場所を提供し、研究継続を支援

## 育児期の医師・女性研究者に対する支援体制に関するアンケートから

- Q. 医局員の出席が重要な医局会や各種症例検討会は、育児期の医師が参加しやすい様に工夫していますか？
- Q. 工夫している場合の具体策を記載してください。



# 意識啓発・広報

## 意識啓発

### ➤ 研修会の開催

教職員等を対象に年2回以上、  
職場環境改善・ハラスメント防止に関する研修会やシンポジウムを実施



女性研究者支援センター直通ダイヤル  
☎0744-23-8011  
jshien@naramed-u.ac.jp

女性研究者支援センター  
まほろば

悩みやストレス、お一人で抱え込まずご相談下さい

まほろばだより 2012 Autumn vol.01

奈良県立医科大学は  
研究者にとっての「まほろば」を目指します！

新刊号に寄せて 学長 岡田 隆

女性が働きやすい、働きがいのある職場は、「男性にとっても働きやすく、働きがいのある職場」であるとの基本的な考えのもと、本学は平成23年3月に当センターを設立しました。幸い、平成23～25年度の文部科学省の事業として採択され、助成金を得て23年度後半から本格的に活動を開始しています。

『まほろば』の発刊は、設置に当たった女性教員・研究者の提案でした。「大和（都）は國のまほろば」となぞる書道「まほろば」は、心も一つにして醸成されることを祈ります。奈良県立当センターをあたためて見守り、背んで参ります。

ニュースレター発刊のご挨拶 センター員 藤野 英二

本センターでは、優れた女性医師・看護師・研究者の育成、増加・定着を図るため、種々の女性研究者支援策を実施しております。妊娠・出産・育児・介護中の女性教職員を対象に、保育費の助成、研究・論文補助金の充て、業務上の悩み等の相談窓口開設、さらには専攻女性研究者の優れた研究成果を顕彰して研究業績を高める等、多くの事業を展開しております。

本センターの事業が図をより多くの方に理解して頂き、一人でも多くの女性研究者にセンターを利用して頂くことを目的に、ニュースレターを定期的に行う運びとなりました。是非ともご利用下さい。全ての教職員が生き生きと活躍できる快適な職場環境づくりにご協力下さい。

「研究の最前線」に取り組みます！ マネージャー 田村 久美子

女性研究者支援でも重要なことは、研究の最前線であると思っています。研究は、長期にわたって行うことが多く、途中で挫折してしまうことも少なくありません。女性研究者支援センターでは、研究の最前線・最前線のための情報を取り寄せ、研究の最前線・最前線のために必要な情報を提供させていただきます。研究の最前線・最前線のために必要な情報を提供させていただきます。また、就業していただく方には、研究の最前線・最前線のために必要な情報を提供させていただきます。

## 広報

### ➤ HPや啓発冊子による情報提供

ホームページやパンフレット、  
ニュースレター「まほろばだより」、  
相談カードによる全教職員・学生への情報提供



# 女性研究者の増加支援

## ➤ 女性の積極的採用・登用

女性教員及び女性研究者を増加させるため、評価が同等の場合は、**女性を積極的に採用・登用するポジティブ・アクションを学長主導のもとにとった。**

その結果、教員の女性比率が大幅に上がった。

### 医学科教員女性比率

11.2%

(平成22年 事業開始前)



15.3%

(平成26年3月31日時点)

### 全教員女性比率

18.0%

(平成22年 事業開始前)

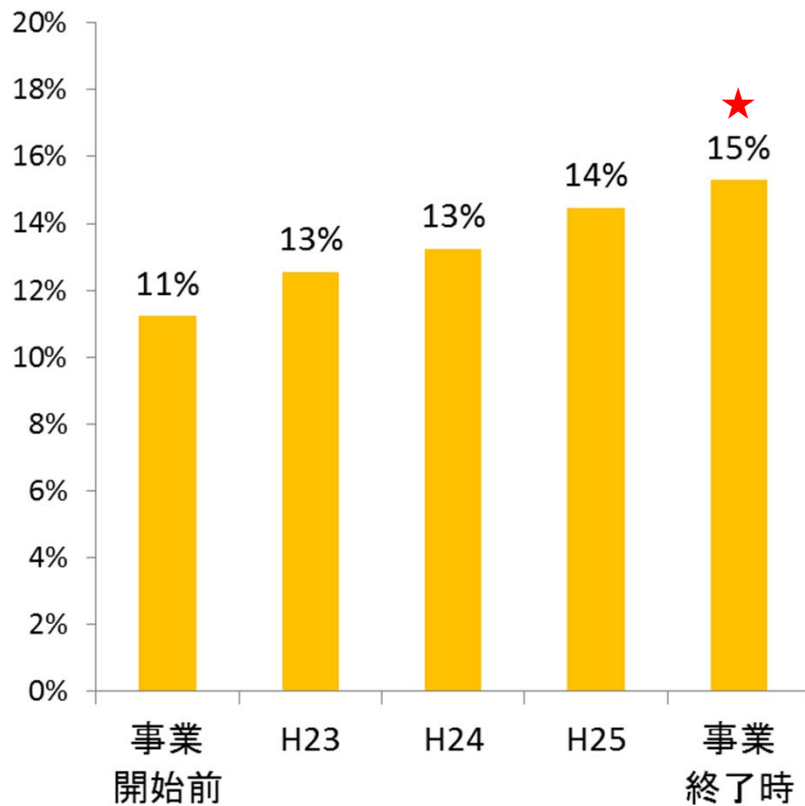


22.5%

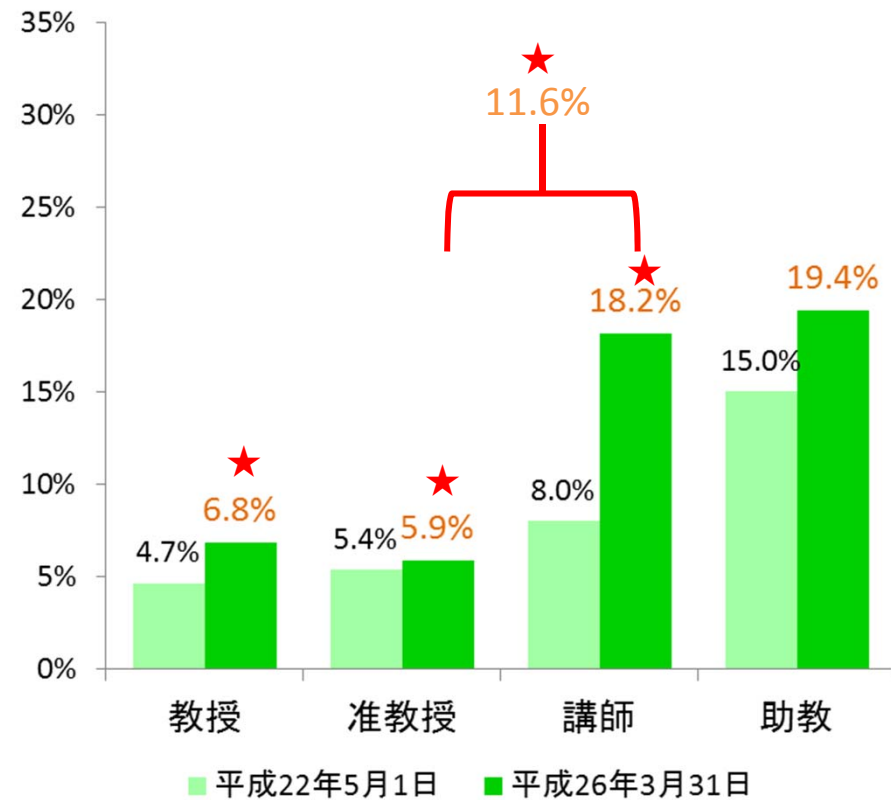
(平成26年3月31日時点)

# 奈良県立医科大学女性教員比率の上昇

## 医学科女性教員比率



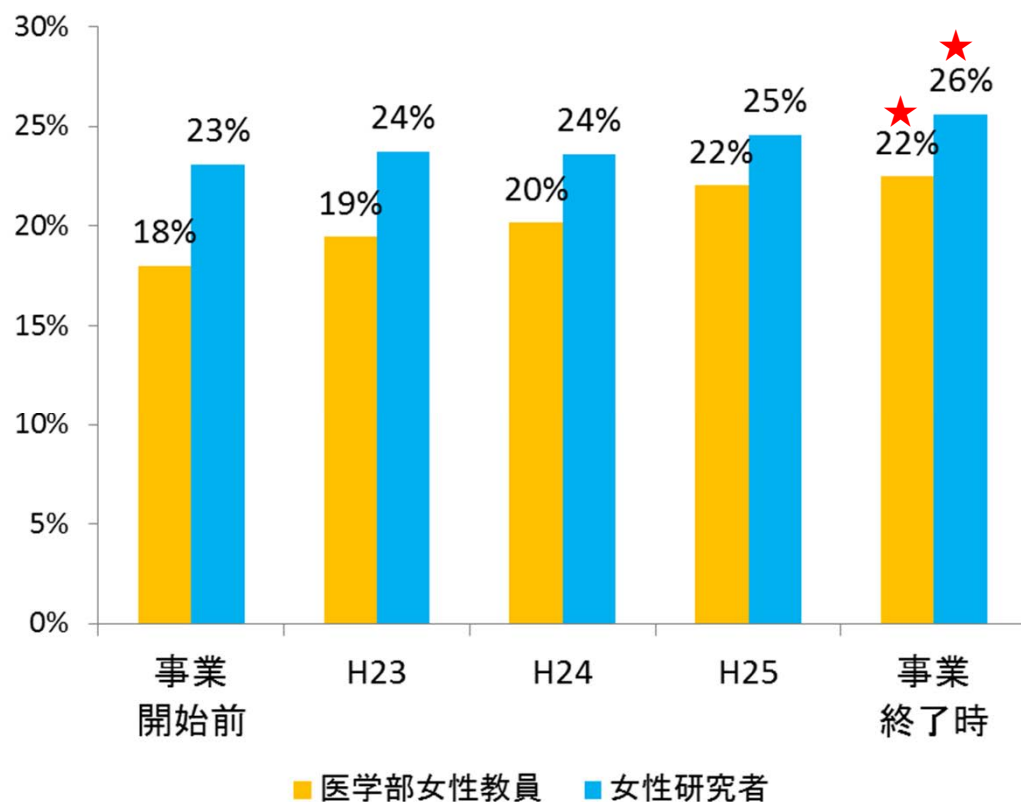
## 職位毎の女性比率



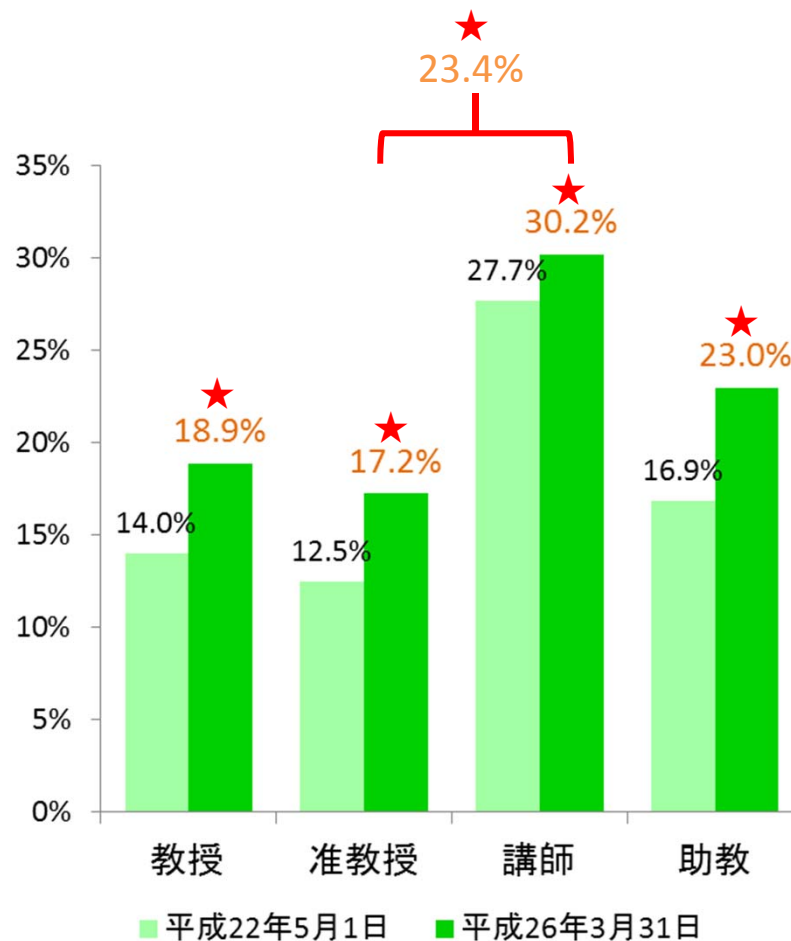
### 目標値

- ▶ 教員全体 11% ⇒ 14%
- ▶ 教授 4.7%
- ▶ 准教授・講師 6.9%
- ▶ 助教 20.2%

## 医学部女性教員・研究者比率



## 職位毎の女性比率



### 目標値

▶ 教員全体 18% ⇒ 21%

▶ 研究者全体 23% ⇒ 26%

【研究者・・・教員+研究員（医員、  
寄付講座教員、特任教員）】

▶ 教授 14%

▶ 准教授・講師 21.9%

▶ 助教 21.9%

# 大学院生女性比率

## ➤ 大学院生の女性比率

	平成22年度 (事業開始前)	平成23年度	平成24年度	平成25年度
博士課程	26.1%	26.7%	26.7%	28.9%
修士課程 (医学)	50.0%	52.9%	31.6%	35.3%
修士課程 (看護学)			91.7%	94.7%
大学院全体 女性比率	30.1%	31.1%	33.9%	<b>39.1%</b>

▶平成24年度より看護学研究科（修士課程）が開設

▶博士課程女性進学者は18名（平成22年事業開始前）から  
**28名（平成25年）と55.6%増加した。**

# 未来の女性研究者育成

## 女性研究者表彰

### ➤ 女性研究者学術研究奨励賞創設

優れた研究成果を挙げた本学の女性研究者を顕彰することで、全ての研究者の研究意欲を高め、優秀な女性研究者の育成、男女共同参画の促進を図ることを目的として平成23年度創設



## 女子中高生の医理系進路選択支援

### ➤ 女子中高生の医理系進路選択支援イベントの開催

女子中高生を対象に本学の研究者が行っている研究の実習体験を行い、研究の楽しさを味わってもらおうと共に、将来の医理系学部への進路選択を促進するイベントを開催（H26年度は科学技術振興機構の補助事業に採択）。

### ➤ 内閣府との連携イベントの開催（平成25年度）

国・地方連携会議ネットワークを利用した男女共同参画推進事業

「医理系の研究って、すっごくおもしろい！」

本学の女性研究者と奈良女子大学の医学部出身の教員が行っている研究を基調講演、パネルディスカッションおよびサイエンスカフェの3部構成で紹介

# キャリアデザイン教育

## ▶ キャリアデザイン教育の実施

本学臨床研修医、学生などを対象として、将来に向けてより良い選択とキャリア構築を行うため、目標実現に向けた課題と解決策等を仲間や先輩医師とともに考える

▶平成23年度

医学科5回生，臨床研修医を対象に2回開催

▶平成24年度、平成25年度

医学科3年生を対象に開催（奈良県医師会と共催）

H26年度より

医学科3年生対象の  
カリキュラム「医学概論」の  
正規カリキュラムとなった

# ネットワークづくり

## ▶ 女性医師等のネットワークづくり

医学部女子学生・研修医・医師・院生・研究者の交流会を開催

## カフェ・JOYFULL

県内女性医師同士の交流会  
奈良県医師・看護師確保対策室と共催

医学科女子学生  
研修医・女性医師  
院生・研究者  
との交流会

En 女医 Café

# 他大学・他機関との連携 / 男女共同参画の推進

## 奈良県との連携

「カフェJOYFUL」：奈良県医師・看護師確保対策室と共催  
県内に勤める女性医師間の交流会

奈良県男女共同参画県民会議委員（センター・コーディネーター）

奈良県男女共同参画審議会委員（センター・コーディネーター）

## 奈良県医師会との連携

医学科3年生へのキャリアデザイン教育：奈良県医師会と協同して実施

奈良県医師会の勤務医部会理事（センター・マネージャー）

## 他大学との連携

近畿圏医科系大学の男女共同参画推進担当者との情報交換会

[参加大学] 滋賀医科大学，京都府立医科大学，神戸大学，兵庫医科大学

## 大学・学会での活動

奈良県立医科大学ワーク・ライフ・バランス検討委員会委員

（センター・マネージャー）

日本呼吸器学会将来計画委員会委員（センター・マネージャー）

日本呼吸器学会近畿地方会 呼吸器診療に携わる医師支援を考えるフォーラム

ワーキンググループ委員（センター・マネージャー）

# 『まほろば』の研究者支援・男女共同参画推進

